

データで見る経済の動き

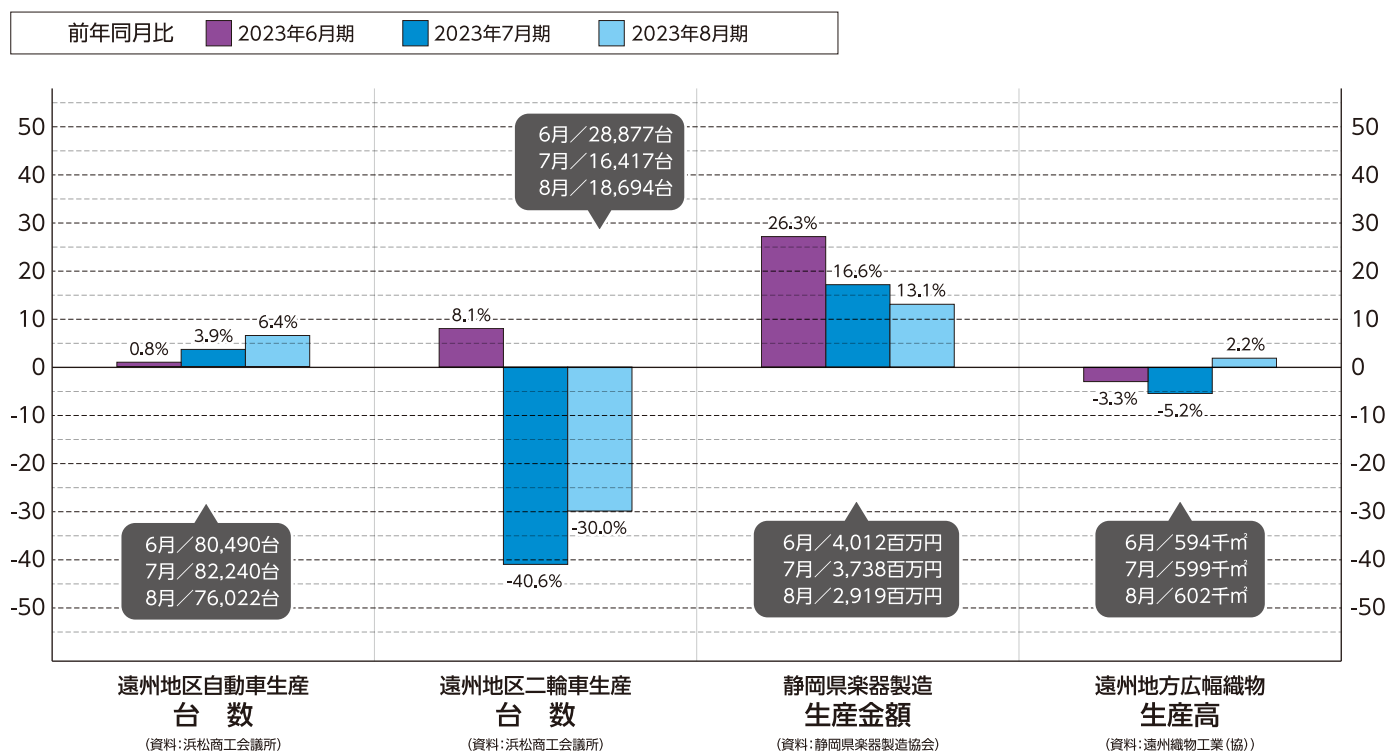
浜松地域の経済動向

2023年
8月を中心に

自動車産業が牽引し、製造業全般では業況回復している。

製造業では、自動車の生産が復調している。二輪車は前年同月と比較して3割減となり、前月と同様に輸出の減少が影響している。楽器は前年同月を上回っているが生産金額30億円を割り込んだ。繊維も前年同月を上回っているが微増に留まっている。タクシーの乗車人員は、コロナ5類と併せて8月のお盆休みにより増加し、駅にタクシー待ちの列もみられた。ホテルの稼働率は3カ月ぶりに60%を上回った。雇用情勢は回復傾向にある一方、ガソリン価格や材料費の高騰によりコスト上昇が企業の経営を圧迫している。円安は更に進行し、3カ月連続で140円台となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2023年8月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比6.4%増の7.6万台となり、6カ月連続の増加となった。半導体などの部品供給不足の緩和により生産は増加傾向にある。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.7%増、小型四輪車は6.6%増、普通自動車は23.9%増となり、全てで増加となった。小型四輪車については16カ月連続で増加となっている。国内向けは13.8%増、輸出は12.4%減となり、国内向けは6カ月連続で増加となった。

二輪車



2023年8月における二輪車生産台数は前年同月比30.0%減の1.8万台となり、2カ月連続で減少となった。国内向けは41.1%減、輸出は28.3%減となり、輸出減が大きく影響している。排気量別では、50cc以下71.5%減、51cc～125cc以下73.4%減、126cc～250cc以下24.5%減、251cc以上15.7%減となり、全ての排気量が減少となった。好調だった251cc以上も2カ月連続で減少となっている。

楽器



2023年8月における生産金額は前年同月比13.1%増の29.1億円となり、14カ月連続で前年同月を上回っているが、7カ月ぶりに30億円を割り込んだ。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ1.3%減、電子・電気ピアノ47.2%減、電子オルガン72.5%減、管楽器7.4%増となった。

繊維



2023年8月の生産高は前年同月比2.2%増の602千㎡となり、4カ月ぶりに前年同月を上回った。コロナが5類に移行し、落ち着いてきているが、衣料品向けの綿織物の生産が主力の遠州地方は、依然として厳しい状況である。展示会においても、アパレルメーカーの動きは鈍く、在庫を絞ったり、発注ロットを小さくしている傾向がある。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2023年8月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比12.6%増の31.8万人となった。コロナが5類になり、8月はお盆休みもあるため、乗車人員も増加している。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、タクシーの台数が少ない土・日の午前中などは、駅にタクシー待ちの列ができていたりしている。

観光

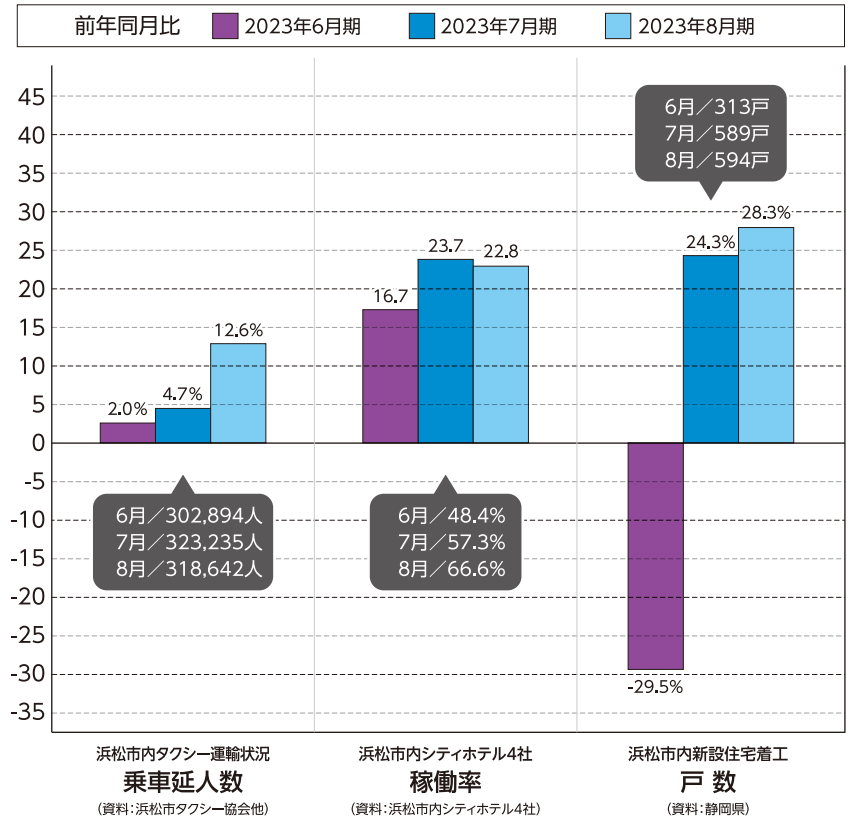


2023年8月の浜松市内ホテルの稼働率は66.6%であった。団体客は、学生のスポーツ関連の大会が復活し、稼働が上昇した。個人観光客も夏休みということもあり増加した。8月より中国が日本への団体旅行を解禁したが、伸び悩んでいる。

住宅着工



2023年8月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比131戸(28.3%)増加の594戸となった。内訳をみると、持家は225戸、貸家274戸、分譲住宅は94戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年8月の有効求人倍率は1.27倍となった。前年同月との比較では0.06ポイント、前月との比較では0.01ポイント上回った。全国(1.29)との比較では0.02ポイント下回り、静岡県(1.20)との比較では0.07ポイント上回った。新型コロナ禍からの経済活動再開に伴い、サービス業を中心に求人が増えている。

倒産企業



2023年8月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は4件、負債総額は1.23億円だった。前年同月との比較では1件減少したが負債総額は5.3億円増加した。静岡県全体の倒産件数は14件で前年同月を1件減少した。ゼロゼロ融資の返済が始まり、原材料やエネルギー価格の高騰で資金繰りが悪化し、返済困難に陥る企業が増えている。

ガソリン価格

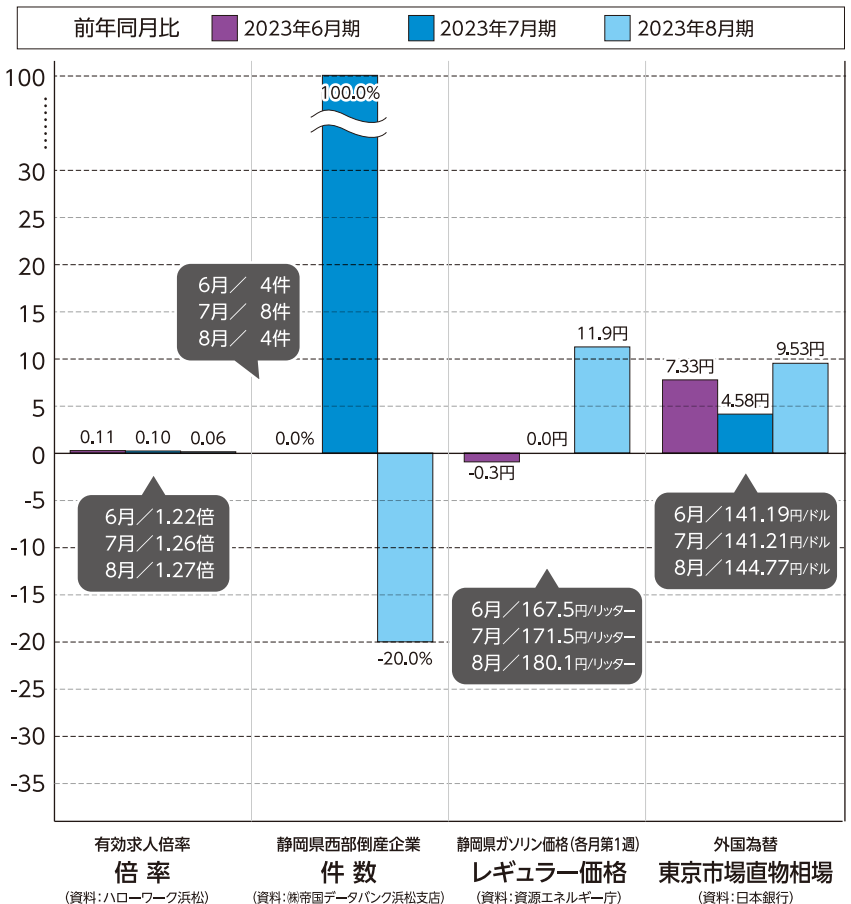


2023年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり180.1円で、2008年8月以来の180円超えとなった。12週連続の値上がりで、前月との比較では8.6円上昇となった。円安と原油価格高騰に加え、国からの補助金の縮小が影響している。

外国為替



2023年8月の外国為替は1ドル144.77円となった。前年同月との比較では9.53円、前月との比較では3.56円の円安となった。4か月連続で前月より円安となるなど円安に歯止めが掛かっていない。



業況DIは小幅改善

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数は、前回調査から小幅に改善した。「経済活動は回復基調」にあるものの、「物価高」、「人手不足」、「円安」が足かせとなっている。

※業況判断指数……景況判断の基準としてDI(Diffusion Index)による分析で、各質問項目のプラス傾向割合からマイナス傾向割合を差し引いた数値のこと

**2023.
7月～9月期**
中小企業景気動向調査
結果報告
2023年11月発行

	全 体				うち小規模事業者			
	調査数	業 況			調査数	業 況		
		前 期	今 期	見 通 し		前 期	今 期	見 通 し
全 体	630				262			
二輪車部品製造	52				19			
自動車部品製造	75				20			
機械部品製造	62				35			
楽器部品製造	16				11			
繊維製造	21				17			
卸売業	76				28			
小売業	60				26			
建設業	71				12			
不動産業	45				32			
飲食・宿泊・レジャー等	24				[2023年7月～9月期中小企業景気動向調査]より浜松市内の中小企業を対象に、業況判断・売上高・経常利益等のDI値を、四半期毎に産業別・地域別等に算出する景気動向調査です。経営者へのヒアリングをベースに算出しています。			

調査で聞き取ったコメント

※意見の多かったものを抜粋して掲載しています。

- 主要取引先から増産計画を受け、業況は良好に推移している。(二輪車部品製造業)
- 半導体不足が緩和されてきて、今後は売上・利益ともに回復見込みである。(自動車部品製造業)
- 新車の納入が通常に戻りつつある反面、中古車市場は沈静化してきた。(自動車販売)
- 仕入値の高騰でメニューの値上げを実施した。(飲食業)

天気予報図の見方

DI:景気動向指数

雷雨 DI:-30.0 以下	雨 DI:-10.0～ -29.9	小雨 DI:-0.1～ -9.9	曇り DI:0.0～ 9.9	薄日 DI:10.0～ 19.9	晴れ DI:20.0～ 29.9	快晴 DI:30.0 以上

← 低調 好調 →